

教学 IR におけるデータ分析入門

真鍋 亮(愛媛大学 教育・学生支援機構 特任助教)

講師略歴

専門は高等教育論および教育経済学。2003年に松山大学に事務職員として入職し、学務課、図書館、キャリアセンター、薬学部事務室、学生課、入試課などを経て2023年より現職。愛媛大学における IR、FD、SD を始めとした諸活動の企画、実施を担当。また、教職員能力開発拠点の活動として他機関における研修を行っている。IR をテーマとした研究論文を多数発表し、実務・研究の両面から IR に携わっている。

プログラム概要

情報化社会が進展する現在において、高等教育機関が直面しているのは、これらのデータをどう有効活用し、教育の質を維持、向上させるかという課題です。こうした背景のもと、このプログラムでは、データを活用した教学の改善策を提供することで、高等教育の意義を再評価し、社会的な期待に応えるための方策について探求します。

参加者のみなさまには、基礎的なデータ分析のスキルを用いて教学 IR の実施方法に触れ、データに基づく意思決定支援ができることを目指します。さらに、高等教育が現代社会で果たす役割とその影響を深く掘り下げ、その価値について再検討します。専門用語や数式はほぼ使いません。講義、個人ワークなどを通じて学びを深め、データを活用した意思決定支援や高等教育の意義について、共有しませんか。

みなさまのご参加をお待ちしています。

準備物・事前課題

FDSD 動画(教学 IR 入門シリーズ5本)、学習支援動画(ゆるく学ぶ統計分析シリーズ7本)の視聴

主な受講対象者

・教学 IR や高等教育に関心のある教職員

到達目標

1. 教学 IR に必要となる、基本的なデータ分析手法を説明することができる。
2. 高等教育におけるデータを活用した意思決定支援について知る。
3. 高等教育の社会的意義を明確にし、教育の質を向上させるためのヒントを得る。